

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 三郎丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

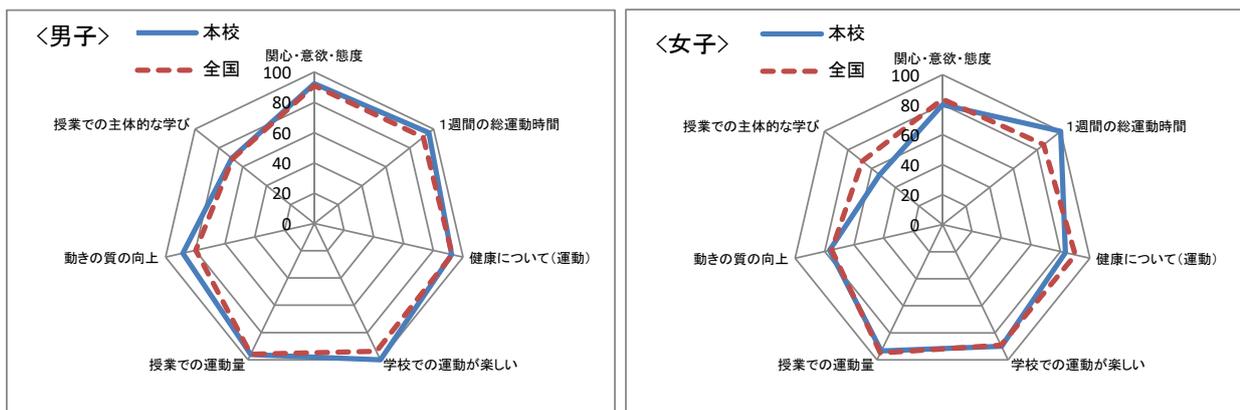
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○5年生の体育科の学習は専科指導で行っている。専門性を生かした指導の成果が表れ、「体育の授業は楽しい」「動きの質が向上していることを実感する」「体を動かすことが楽しい」と答えた児童は、男女ともに全国平均よりも高い数値となった。

○生活習慣のうち睡眠時間や朝食の摂取率は、男女ともに全国平均をやや下回る結果となった。テレビやスマートフォン、タブレット端末などメディアとの接触時間は、男女ともに全国平均を上回る結果となった。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○引き続き、体育『すきっちゃんプログラム』を活用し、各学年の課題に応じた準備運動を実施していく。

○4年生以上の体育科の学習では、専科指導を導入している。今後も専門的な指導により効果的に児童の体力を伸ばす授業を構築していく。

○学習の振り返りをしっかりと行い、次の学習に対する見通しや活動の目標をもてるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○スポーツ委員会が休み時間に、運動場で、安全に互いの距離を保ちつつ、運動に親しむことができるよう見守り活動を行った。

○体育科の学習で行っている運動に応じて、学級貸出用のボールの種類を変更したり、運動場にラインを引いてコートを整備したりすることで、体育科の学習が休み時間等の運動に生かされるよう工夫した。

○今回の結果をHPに掲載し、通信等で知らせるなどして、生活習慣の改善を図るよう促す。